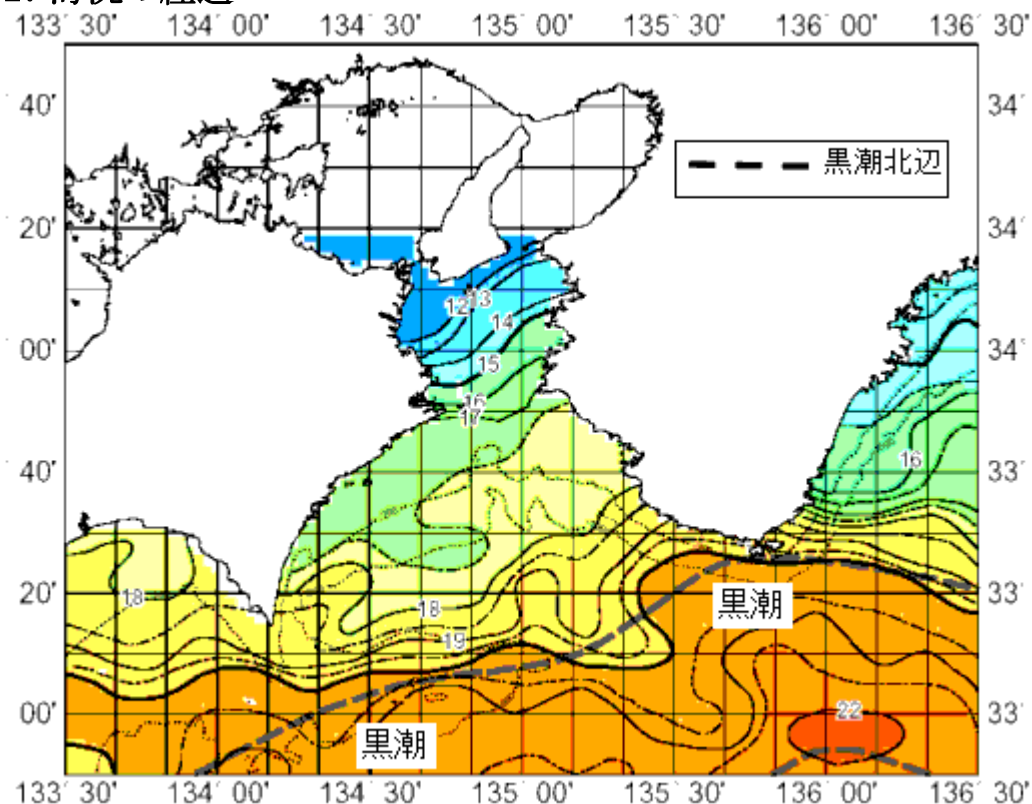


1. 海況の経過

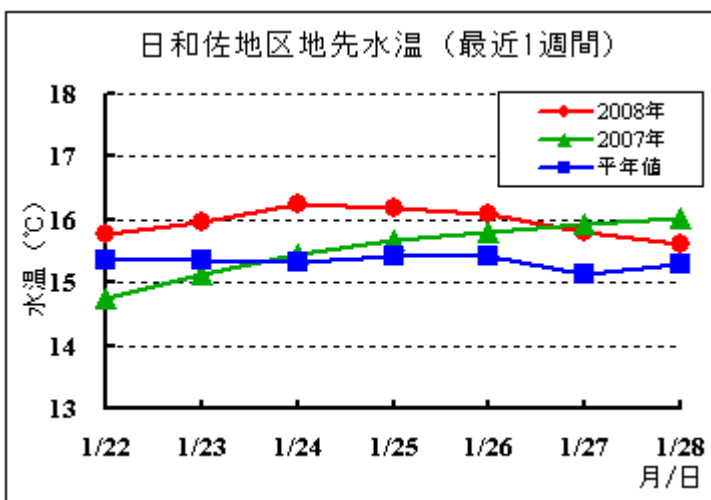
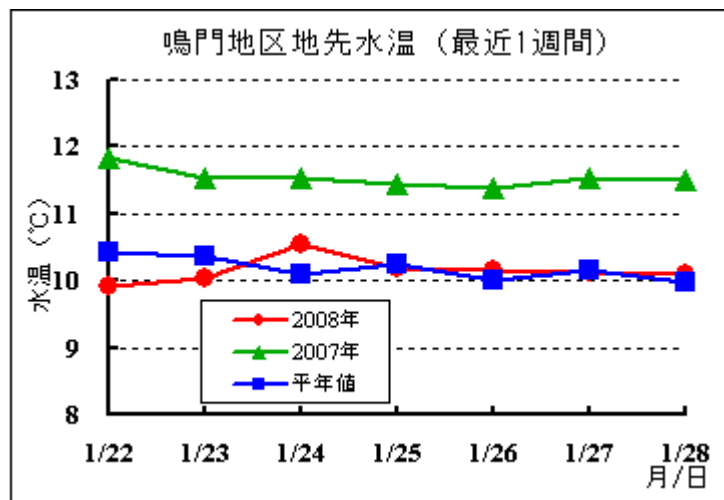


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.01.28)を示した。黒潮は室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は20～22℃台である。表面水温は播磨灘が10～11℃台、紀伊水道内部が11～16℃台、外域の大部分がほぼ17℃台となっている。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の9.9～10.5℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の15.6～16.2℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の15.1～16.6℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大・中主体にサバフグが0.3トン(1日1隻あたり13kg)、大主体にトラフグが84kg(同4kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、大主体にアオリイカが2.7トン(同30kg)、キビナゴが343トン(同57kg)、小主体にアカカマスが0.3トン(同64kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にスルメイカが1.3トン(同220kg)、小小主体にマサバが1.3トン(同433kg)、小主体にタチウオが0.4トン(同87kg)、小小主体にマアジが0.4トン(同84kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.4トン(同7kg)、大・中主体にタチウオが0.9トン(同66kg)、紀伊水道で、サワラが0.1トン(同14kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)01月21日～01月27日 県下5漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	24	305	13	大・中主体
		トラフグ	19	84	4	大主体
小型定置網		アオリイカ	88	2,657	30	大主体
		キビナゴ	6	343	57	
		アカカマス	4	256	64	小主体
大型定置網		スルメイカ	6	1,320	220	大主体
		マサバ	3	1,299	433	小小主体
		タチウオ	5	437	87	小主体
		マアジ	5	418	84	小小主体
釣り		アオリイカ	56	413	7	大主体
	タチウオ	13	860	66	大・中主体	
	紀伊水道	サワラ	9	124	14	

週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸し、潮岬沖で接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の9～10℃台、日和佐地先で「平年並み」の14～15℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の曳き縄で、ビンナガが2.0トン(1日1隻あたり24kg)、釣りで、タチウオが0.4トン(同8kg)、イサキが0.3トン(同7kg)、パッチ網でシラスが16.3トン(同282g)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが0.5トン、サバ類が0.4トン、スルメイカが13.8トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上